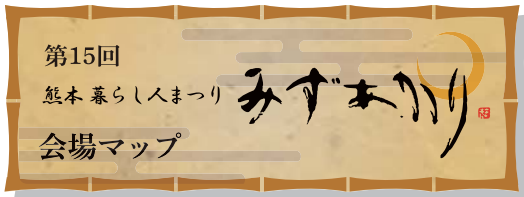


“みずあかり”はボランティア手作りのお祭りです。

“みずあかり”は、ふるさと・熊本の魅力を再発見し、“ここに暮らす喜びや切なさまでも共感できる市民と地域でありたい”という想いで、平成16年(2004年)に始まったお祭りです。毎年延べ6,000人以上の市民ボランティアが制作・運営に参加。運営資金は、個人や民間企業の皆さまからのご協賛で成り立っています。2日間にわたり、ろうそくの灯りが熊本の夜を彩ります。




- 歩行者天国** 6日(土)15時~24時
7日(日)16時~25時
- 歩行者天国** 6日(土)15時~8日(日)25時

みずあかり総合受付
「当日ボランティア」「あかりびと」受付
※ボランティア・あかりびと詳細はHPをご覧ください。



熊本の資源を活用した「循環型」のお祭り
花畑公園の献灯に使用する「和ろうそく」は、宝暦の改革で肥後藩復興の主役となりました。現在も全国一の生産量を誇る水俣市の物を使用しています。献灯のあかりは、阿蘇山中岳から採火された御神火を灯し、あかりを演出する水は、熊本が誇る水源の水を使用します。祭りに使用する竹の伐採は、竹林被害の予防にも役立っています。また、このお祭りで使用した竹は竹堆肥や竹炭にして、資源の循環を図ります。

写真・ビデオ撮影をお楽しみの皆さまへ




事故防止・安全上の理由により、みずあかり会場内での**カメラ三脚・脚立の使用をお断り**しています。ご来場頂くみなさまが気持ちよく、安全・快適に会場内でお楽しみ頂けるよう、写真・ビデオ愛好家の皆さまへのご協力とご理解をお願いします。


※会場内での小型無人機(ドローン)の飛行は禁止します

エリア別見どころ情報


A 花畑公園
＜みずあかりメイン会場＞
推定樹齢600~700年の大クスノキの周りに竹ぼんぼりの献灯場を設置。和ろうそくに火を灯し、願い事を書いた短冊を添えて竹ぼんぼりを献灯できます。
献灯用竹ぼんぼりは花畑公園内で販売します(500円)




B 市民会館シアーズホーム夢ホール前
歩行者天国に広がるみずあかりの美しい空間をお楽しみ下さい。みずあかりの象徴的の写真が撮影できる見どころのひとつです。



C 清正公像前(三角公園)
加藤清正公像がそびえる三角公園には、「崇城大学 内丸研究室」の作品が皆さまを幻想的な世界へと誘います。



D 坪井川
坪井川の水面に揺れる約3,000個の浮き灯籠の灯りは熊本の秋の夜を、より美しく幻想的に彩ります。



三角灯籠設置エリア
A 花畑公園 **E 城彩苑** (オープンスペース・バスロータリー・城彩苑前道)
熊本市内の幼児、小学生、中学生、高校生、大学生や福祉施設、ワークショップ参加の方々の手によって制作された三角灯籠が並びます。



F 合同庁舎跡地(城彩苑西側空地)
15周年を記念した新演出。熊本城の新たな魅力が再発見できるスポットです。